



藤田裕喜
市政クラブ

市民向けの情報発信の在り方について

問 令和2年度市民意識調査では、市に愛着を感じている人は8割に近く、また住みやすいと感じている人も約8割なのに対し、知人に薦めたいかという問いに、薦めたいと回答した人は46%という結果であった。この結果をどう分析しているか。

答 様々なクロス集計を行ったが有意性がある集計結果が出ておらず、その要因を特定できていない。

問 調査では、子育てしやすいまちかどうか、子育てに関する情報に満足しているかということも聞いているが、両者はどのように関連しているのか。

答 2つをクロス集計した結果、子育てに関する情報の満足度が高

くなるにつれ、子育てしやすいまちだと思ふ割合が高くなる傾向が見られる。

問 広報チラシが分かりやすいければ、市民に市の施策をしっかりと伝えることができ、市に対する満足度を向上させることができるかと考える。より洗練された広報チラシ作成のため、東京都足立区のような職員向け相談部署を設置してはどうか。

答 秘書広報課広報広聴担当では、広報がまごのりの発行等の業務に携わっており、その経験から事業の所管課からの相談があれば、アドバイスができると感じている。



広報チラシ



尾崎広道
自由クラブ

公共施設敷地内の樹木について

問 西浦小敷地内の宮地の松が深植え状態だが、樹木医等の診断、手当等行っているか。

答 樹木医による診断、手当はしていない。

蒲郡市緑の基本計画について

問 西浦小敷地内の黒松林は、緑地の分類のうち、地域制緑地等に当てはまるか。

答 地域制緑地は一定の土地の区域を指定し、利用を規制して保たれている緑地である。当該黒松林は該当しない。

問 当該黒松林は、緑地の機能のうち、風格のある美しい都市景観の創出といった景観形成機能に合致するか。

答 景観形成機能の視点では、学校校庭は特別な位置づけはない。

西浦地区合築施設建築検討協議会

問 学校図書室の検討時に、図書館の現運営受託者であるブックパートナーが呼ばれなかった理由は。

答 第1回協議会当時は意見の洗い出しをするステップと考えていた。学校図書室を地域の図書館として利用していきたいとの意向が確認できたため、今後ブックパートナー等から参考意見を聞き検討を進めていきたい。

問 多目的ホールは武道場として使えるか。

答 多目的ホールとしても活用できるよう設計する。



大場康議
自民党市議団

三河港港湾計画について

問 蒲郡貯木場及び整理場の活用状況と企業用地としての埋立について伺う。

答 現在では原木を取扱う企業が撤退し、使われていない。三河港蒲郡地区の活性化を図るため、貯木場を埋め立てて企業用地として有効活用ができるよう、港湾管理者である県に対し、港湾計画への位置づけを要望している。

問 蒲郡緑地の管理及び活用について伺う。

答 県の管理であり、市への管理の移管や土地の譲渡については、現時点で具体的な計画はない。今後必要に応じて県と協議したい。

問 (都) 蒲郡環状線6工区整備について新規の橋梁設置と

西田川の河川改修について伺う。

答 橋梁の新設工事に伴い、西田川の河川改修工事に基づいた将来の計画断面に改修する必要がある。管理者である県とは、計画高水量、計画断面等の確認についての事前協議は完了しており、今後は、工事実施前に本協議を行う予定である。

6工区の完成時期について伺う。

答 現時点で開通見通しの時期の明言はできないが、できるだけ早く開通できるよう、橋梁の施工や河川改修に必要な進入路の工事を、令和4年度より実施したいと考えている。



蒲郡緑地